

5 中央線鉄橋下

鉄道好きにはたまらない場所です。上り線の鉄橋の橋脚には、日野煉瓦の橋脚が今も残っています。落書き防止のため大半が白く塗られてしまいましたが、これは甲武鉄道開業当時(1889年)に作られたもので、赤レンガは日野煉瓦(現在は廃業)製で当時のまま残っています。なんとなくレトロな風情がいいですね。

4 四ツ谷下公園(日野宮神社)

中央線の鉄橋の手前をちょっと日野駅に向かうと、小さな公園があります。そう、ここに地元で有名な「うなぎ伝説」の云われが書かれていますよ。「むかしむかし大洪水が発生したとき、多摩川の堤にぼっかり開いた穴を・・・」この先は現地でご確認ください。うなぎは近くの日野宮神社に祀られている虚空蔵菩薩の使われしめだと伝えられています。

6 日野渡船場跡

「つれて〜逃げてよ〜」矢切の渡しならぬ「日野の渡し」があった場所です。なんと大正15年まで現役だったそうです。ここにも説明書きがあり、「江戸時代初期の甲州街道は現在の場所よりもっと下流だった」などのうんちくを仕入れることができます。

1 日野橋(下流)

多摩川の堤に大きな犬が遠くに見える。近くに行くのと馬(ポニー)が2頭、静かに草を食べているではありませんか。「ポニーはサラブレッドと違って気性が大変おとなしく、1人で2頭を散歩させても大丈夫なのですよ」とのこと。近所の介護老人ホームで4〜5年前から飼われており、お年寄りもポニーとふれあうことで、自然と会話が弾み、笑顔になるそうです。意外なアニマルセラピーなのでした。皆さんも上手くすると会えるかもしれませんよ!!

2 万願寺渡船場跡

ベンチが1脚あり、ちょっと休憩出来ます。江戸時代初期の甲州街道の渡船場で、渡船場が日野に移ってからも使われていました。多摩川橋の近くに飲料水の自販機と最近めずらしい「公共電話ボックス」があります。

3 多摩川グラウンド

東京都選抜軟式野球連盟所属の日野オークスが今季初の練習を行っていました。伊藤監督と鳥羽幹事に話をお聞きすると、全員60歳以上の43人で構成され、平均年齢66歳。今年創部18年目、優勝経験のある強豪チームでした。

3 成就院薬師堂

水車堀公園から多摩川方面に150mほど行くと、成就院というお寺があります。その境内に時代を感じさせるお堂が建っています。薬師堂です。本尊は「運慶」作と伝えられる秘仏です。ここにも意味ありげな言い伝えが記されています。「なるほど」と納得させられますよ。

2 よそう森公園

日野用水に沿って歩くと、水田の中に小さな公園が現れます。よそう森公園です。現在は、森は見当たりませんが、昔は小高い丘と杉林があったとのこと。その森には稲荷が祀られていて、人々は祠の前の年の収穫高を予想したことから、よそう(予想)森と呼んだとのこと。実は、当時建てた祠は移設されて公園内にはありませんでした。どこに移設されたのでしょうか?この祠を探してみるのも面白いですね。

日野駅

明治23年(1890)1月6日地元有志の寄付により甲武鉄道の駅として開業、昭和12年(1937)6月複線化に伴い300mほど北の現在地に移動しました。入母屋造りの民家調の駅舎は、かつて日野が「八丁田圃」と呼ばれ稲作地帯だったことを物語っています。

7 安養寺

この地域の町名は万願寺ですが、現在「万願寺」というお寺は存在しません。安養寺の石黒忠雅住職によると、「万願寺は四小跡山門あたりにあったようで、安養寺の本尊は600年前は万願寺にあり、400年前に安養寺に移設された(地頭文、古老への聞き取りや過去帳)。安養寺の本尊の阿弥陀如来坐像は平安時代の様式を持ち、東京都の文化財に、毘沙門天は鎌倉時代初期の作といわれ日野市の文化財に指定されています。

8 北川原公園

トイレがとてもきれいです。グラウンドの周りに12基のベンチがあり、ゆつりと休憩出来ます。グラウンドの下は浄水施設になっており、「浅川浄水センター」に隣接しています。

6 とうかん森

樹齢250年と推定されるカヤやムクノキの大木があります。とうかんの呼称は稲荷、あるいは十家(土方一族の十家余)の音読みに由来するとも言われています。

4 石田大橋

国立・府中と日野市を結んでいます。晴れていれば、日野・八王子方向の正面遠くに富士山が眺望出来ます。名称は「イシダオオハシ」です。

5 石田寺

「セキデンジ」と読みます。寺の名前は音読みが通称だそうです。土方歳三の墓があり、命日の5月11日に歳三忌が行われます。また、樹齢400年以上のカヤの木(日野市の指定天然記念物)があります。

地図の見方

●●● = 信号 WC = トイレ

表面は… 浅川を歩こう! 上流・下流コースです

ウォーキングの運動効果

1日1万歩のウォーキングで300Kcalを消費

運動をするとき、体の中のエネルギーを燃やして体を動かしますが、エネルギー源には糖質と脂肪があります。ウォーキングは、最初は糖質が使われ、そのあと脂肪が燃焼をはじめます。呼吸をしながら長く歩けば体の中の脂肪が消費されます。ウォーキングは、メタボリックシンドロームの解消や、病気の予防にも効果的な誰もが出来る運動です。

多摩川編

多摩川を歩こう! 上流コース (約5.5*_回)

日野駅からモノレール甲州街道駅までの多摩川を下るコースです。日野用水に沿って東光寺地域を目指し、多摩川に出ます。中央線の鉄橋下をくぐり、立日橋、日野渡船場跡などを通して甲州街道駅までの史跡と清流を訪ねるコースです。

多摩川を歩こう! 下流コース (約5*_回)

甲州街道駅から万願寺駅までの多摩川を下るコースです。日野橋を右に整備された堤防の遊歩道を行き、万願寺渡船場跡を見て、多摩川と浅川との合流点まで行き、浅川をさかのぼって新井橋に出ます。石田寺や安養寺など史跡と自然観察のコースです。

市民記者の編集後記

今回この企画で日野市内を散策して、区画整理が進み新しい住宅や道路が整備され、町が大きく発展しようとしていて感じました。そんな中にも、ぶどうや梨、ブルーベリーなどの果樹園や、趣と歴史を感じる木造の倉庫も共存しており、市民の皆さんが市内の歴史や自然を愛し、大切にされていると感じました。今回はコミカミナルタビビジネスエキスパート(株)のメンバーが企業ボランティアとして取材に参加させて頂きましたが、日野市に大きな拠点を抱える企業の一員として、町の発展と歴史や自然の保護の両立に、少しでもお手伝いが出来ればとの思いを新たにいたしました。

今回、私は南平から百草までの浅川コースを取材しました。このコースは、春の桜、夏の市民プールと対岸を往來する渡し舟、秋の紅葉など季節ごとに楽しむことが出来ます。また、川面には鯉が時折顔をだし、堤ではスズメ、キジバド、ゴマハト、ニビキシマアオジ、ジョウビタキ、モズなどさまざまな鳥の姿も見られます。日野の自然を手軽に楽しめるこのコースを満喫してください。

浅川の水辺で気持ちよく、楽しい思い出作りの出来るコースを選定いたしました。橋からは、朝焼け、夕焼けがよく見え、元旦のご来光に大勢の人々で賑わいます。また、鮎や鯉に見とれます。どうぞ、足を地球にしっかり着けてコースを歩いて、健康づくりに励まれることを祈念いたします。

田中三雄さん(南平在住) 土方憲司さん(南平在住)

(日野橋)